

実施内容	国内留学プログラム～ゲームde多文化理解～		体験領域	他者理解
日付	令和6年1月26日（金）	場所	教室	
参加校	調布市立第六中学校			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジルやネパールなど様々な国から来た留学生とグループを作り、交流することを通して異文化への理解を深め、他者理解のために必要な豊かな心を育むことをねらいとしています。 ・会話は全て英語で行い、クイズやカードを用いたゲーム等の様々なプログラムを実施する中で、「英語を話す楽しさ」や「英語が伝わるうれしさ」を体験できるようにしています。 			

自己紹介

・留学生を交えてグループ内で自己紹介を行いました。生徒は準備した内容を、緊張した様子で発表していました。



・留学生の母国で有名な食べ物やスポーツなど、生徒も知っているような身近な話題になると、緊張もほぐれ、留学生と楽しそうに交流をしていました。

Say say English

・カードに書いてある内容について、ジェスチャーや英語でヒントを出し、回答役の生徒が答えるゲームを行いました。



・ヒントを出す生徒が「英語でどう言えばいいですか？」と困っていると、留学生がフォローするなど、各グループで大変盛り上がりました。

「留学生の母国の魅力について」発表準備

・「留学生の母国の観光大使となり、国をPRする」ということをテーマに、グループごとに、発表準備をしました。



・留学生が準備した食べ物の写真を見て、「これ食べたことがあります。」と留学生と会話をするなど、発表準備を進めながら、交流がより深まっていました。

発表

・留学生と協力して発表を行いました。グループで準備したものを、緊張しながらも、英語で堂々と発表していました。



・質問コーナーでは、生徒が民族衣装について、「かわいい。着たことがありますか？」と、留学生に質問するなど、異文化に興味を示す様子が見られました。

参加した生徒の声・反応

- ・知っている単語をつなげて話せば、少し間違っても、伝わってうれしかったです。実際に話すことは楽しかったし、学ぶことも多くて有意義な時間でした。
- ・この交流を通して、留学生の母国について理解することができました。英語だけだったので大変だったけれど、ゲームなどで楽しく英語に触れることができました。英語をもっともっと勉強して、他の外国の人とも話をして、国際理解を深めたいです。